

第（ 2 ）年 美術科の授業

美術科の目標・特性	美しいものを美しいと感じる心や、自分が五感で感じたことを大切にしながら、形や色、材料で表現する、また表現されたものから、その意味や価値を感じ取ろうとする気持ちや姿勢を学ぶ教科です。想像（イメージ）したり、材料や道具で試したり技術を磨いたりしながら、表現することの楽しさを体験し、一人一人の表現を理解し尊重し大切にできる豊かな心を育てます。
評価の観点	関心・意欲・態度 表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組み、美術を学習することへの意識を高めている
評価の観点	発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて豊かに主題を発想し、独創的な表現の構想をすることができる
評価の観点	創造的な技能 形、色、材料の働きを生かし、創意工夫して表現することができる
評価の観点	鑑賞の能力 感性や想像力を働かせて美術の世界に親しみ良さや美しさを味わうことができる
授業内容	題材名（実施月） 到達目標
授業内容	モダンテクニック（技法） ○絵の具などの多様な表現方法を理解することができる ○
授業内容	超現実的な世界（イメージの世界） ○技法を使って表現し学習したことを生かすことができる ○あり得ない世界を想像してアイデアを考えることができる ○独創的な表現に挑戦することができる ○シュルレアリスムの作品を鑑賞することができる
単元構成	手作りの楽しみ 現代に生きる伝統 ○生活に潤いや彩りを与えるデザインを考えることができる ○用具や道具を使って加工することができる ○用途にあった作品を制作することができる ○作品の意図を感じ取り、作者の気持ちをくみ取ることができる
単元構成	日本絵画の造形美 ○江戸時代中期の日本会画を鑑賞することができる ○暮らしの中での和の美術に触れることができる ○日本絵画のまとめプリントができる
単元構成	切り絵 ○日本絵画の造形美を味わい鑑賞することができる ○日本絵画を題材に切り絵の下絵を考えることができる ○切り絵の特色を生かして図柄を切り抜くことができる ○配色を考えて色紙を貼ることができる

学習の前に

青空や野に咲く花が美しいと思ったことはありませんか。行ったことのない外国の美しい風景をテレビや写真で見たときも「すごい！」と驚きの声を上げたこともあるでしょう。漫画雑誌の表紙もキャラクターグッズも、実は一流デザイナーによって色や形、素材が吟味されています。人は人が作った美しいものに価値を感じ尊敬をこめて眺めます。「わあ、きれい」「すごい！」という感動を大切に、いつも色や形、素材の持つ美しさに敏感であるよう、五感の窓を開けておきましょう。

○ 授業前に学習を予測して予習や用具・材料の準備を整え、意欲的に参加しましょう。美術の授業は道具や材料によって成立します。忘れ物のないようしっかり準備をして美術室へ来よう。

授業中

- まず1時間の授業に集中して取り組むことが基本です。授業に関係のない私語をしたり、用もないのに席を立つなどのことがないよう、制作に没頭しましょう。
- 自分の良さ、独自性を信じてアイデアを考え、失敗をおそれずのびのびと表現しましょう。
- 納得のいく表現に到達するために粘り強く制作に取り組み、よりよくしようと工夫する努力をしましょう

学習後

- 学習したことはすぐ練習すると身に付きます。帰ったらもう一度描いたり作ったり鑑賞したりしてみましょう。学習前にはできなかったことができるようになることを確かめるよいチャンスです。

評価の仕方

- 準備物や意欲的な態度・真剣に制作に取り組む姿勢（関心・意欲・態度）
- アイデアスケッチや美術プリントなどの提出状況（関心・意欲・態度）
- テストは学習内容で知識として知っておいた方がよいことと鑑賞の内容
- 作品の観点は到達目標に到達すればBとします
 - A・・・独創的なアイデアがあり、作品をよりよくしようと創意工夫することができる
 - B・・・目標に到達し作品を完成することができる
 - C・・・目標に到達せず作品を完成することができない

先生からのメッセージ

- 絵を描くのが好きな人やものを作るのが好きな人は、どんどん描いたり作ったりしましょう。そしてよければ先生に見せてくれるとうれしいです。美術に興味のある人はいつでも気軽に相談に来てください。
- 積極的に美術館へ出かけたり文化財にふれあう機会を持ちましょう。優れた芸術作品はみんなの目と心を鍛えます。